

職員が多様な能力を最大限に発揮できる魅力ある職場づくりを目指しています。

人材育成と福利厚生 制度の充実

職員一人ひとりが持ち得る力を十二分に発揮し、職務に専心できる環境づくりに力を入れています。

当金庫は、「業績評価制度」や「能力評価制度」などの人事諸制度を適切に運営するとともに、人材育成に力を入れています。面接を通じて目標の設定や成果の検証、仕事上さまざまな場面で発揮された能力（コンピテンシー）の振り返りといったプロセスを繰り返すなかで、職員の業績貢献や能力開発に対する意識や取組みの向上を図るとともに、研修メニューを豊富に揃えることにより、そのサポートを行っています。また、新入職員については、当金庫の基盤の一つである農業の現場やJAの多岐にわたる業務について理解を深めてもらうことを目的に2週間程度のJA現地研修も実施しています。

職員の配置・登用にあたっては、能力評価や各種面接・自己申告などにより把握した各人の能力・適性・キャリア展望を踏まえ、一定期間でのローテーションを念頭に適材適所の配置・登用を行い、職員のキャリア形成および仕事を通じた自己実現を支援しています。

さらに、職員の健康管理と福利厚生制度の充実に取り組み、健康管理では、定期健康診断に加え、独自の健康づくり活動の展開、専門医によるメンタルヘルス相談室の開催、ストレスのセルフケア対策の支援などを行っています。また、育児・介護支援対策の強化、弁護士による法律相談窓口の設置などを行い、職員が職務に専心できる環境づくりに力を入れています。



JA伊豆の国 (静岡県) 現地研修



JA鈴鹿 (三重県) 現地研修

主な人材プログラム

集合研修

- ・キャリア開発研修：能力の棚卸・自己分析を通じてキャリア開発意識を醸成する
- ・マネジメント研修：リーダーシップ、効率的な業務処理等のマネジメントに必要な知識の習得・向上
- ・ビジネススキル研修：コーチング、ネゴシエーション、7つの習慣等のビジネススキルの習得・向上
- ・企業診断研修：企業経営にかかる基礎理論の理解とスクーリングによる実践を通じたコンサルティング能力の向上・定着

自己啓発支援

- ・通信研修、外部資格取得、外国語学校通学助成制度：職員の自律的なキャリア開発の支援として、各種取組みにかかる費用の一部を助成

外部派遣

- ・海外留学：MBA・LL.Mプログラムを通じた専門知識の習得
- ・異業種交流型研修、運用会社、JA等の外部への派遣を通じた人材交流、専門知識の習得

新人教育

- ・新入職員職場教育制度、指導係研修
- ・受入研修、JA現地研修、新人基礎研修会、フォローアップ研修

その他

- ・業後研修、土曜セミナー：企業価値評価、各種法制度改正等をテーマに外部講師を招聘
- ・eラーニング

人権を尊重した職場環境づくり

社会倫理とコンプライアンスへの意識を高める教育、組織風土の構築に努めています。

当金庫は、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を遵守するため、倫理憲章に盛り込まれた人間尊重の考え方に基づく透明性の高い組織風土の構築に努めており、役員などに対して人権問題に関する教育・啓発を継続的に行っています。その一環として、本店および支店・事務所ならびに海外拠点において、さまざまな分野の人権に関する講師を招くなどして研修会を実施し、役職員の人権問題への正しい理解を促進して認識を深めています。さらに、年次・階層に応じた集合研修を通じてコンプライアンスや人権などの教育にも力を入れているほか、当金庫グループ会社を含めた人権意識の一層の向上にも取り組んでいます。



セクシュアルハラスメントなどの相談対応には、内部の相談窓口担当者に加え、外部相談窓口も設置しています。

職場見学会の開催

当金庫は、平成20年8月、職員の子どもたちを対象とした「夏休み！職場見学会」を開催しました。父親や母親が働く職場を見学することを契機に、家庭内でのコミュニケーションを深めるほか、金融機関の仕事について学んでもらうことを目的としています。当日は小学校高学年を中心に30人の子どもたちが、午前中半日をかけて、金融機関の仕事について説明を受けたあと、金庫室など本社ビル内を見学するほか、実際にお札を数える“札勘”などの業務を体験しました。



見学会を終えて



“子どもたちから”

「お金をいっぱい集めたら、こんなに重くなるんだなと思いました」(小4男子)

「お父さんがどんな仕事をしているか、よく分かりました。一番心に残ったのは“ディーリングルームを見てみよう”です」(小5女子)

「銀行について“分からないことだらけ”から“何となく分かった”に変わりました」(中1男子)

“お父さん、お母さんから”

「めったに入れない職場を見学することができて、子どもにとっては親の仕事が身近になり、とてもいい企画だと思います」(子どもが見学会に参加した職員)

「この企画を今後とも続けられることを願っています。会社と家の往復をしている夫の気持ちが、家族として少しでも理解できたように思いました」(同行した保護者)

